

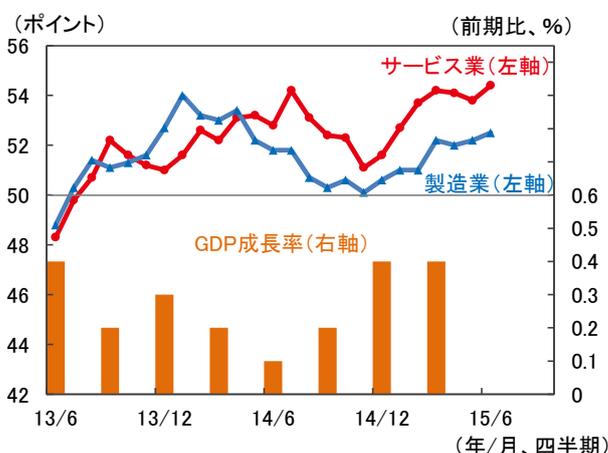
## 今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済(2015年6月) 景気の緩やかな回復が持続

### ポイント1 景気は緩やかに回復

1-3月期GDPは前期比+0.4%

- ユーロ圏の6月の製造業PMI(購買担当者景況感指数)は52.5と前月から上昇し、24カ月連続し好悪の境目である50を上回りました。4月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%と、市場予想を下回ったものの、3月の同▲0.4%から改善し、緩やかな回復を辿っています。
- 6月のサービス業PMIは54.4と前月から上昇しました。4月の小売売上高は前月比+0.7%と、振れを伴いつつも上昇傾向です。
- 製造業の回復から雇用や所得環境が改善し、GDP成長率も上向いています。

製造業・サービス業PMIとGDP成長率



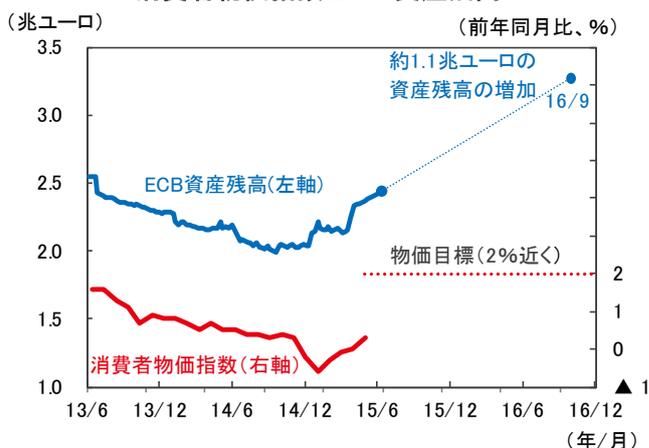
(注) 製造業PMIとサービス業PMIのデータは2013年6月～2015年6月。GDP成長率のデータは2013年4-6月期～2015年1-3月期(四半期)。(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 デフレ懸念は後退

ECBの金融緩和は来年9月まで継続

- 5月の消費者物価指数は前年同月比+0.3%と今年1月の同▲0.6%を直近の底として上昇しています。ユーロ安から食料品価格などが上昇し、原油安の影響も和らいできたことが要因です。デフレ懸念は後退しています。
- 欧州中央銀行(ECB)による強力な金融緩和が景気や物価が上向いてきたことの背景です。ECBは、2%近くとする物価目標の達成が見通せるまで、現行の月600億ユーロの資産購入を継続する方針です。

消費者物価指数とECB資産残高



(注) ECB資産残高のデータは2013年6月7日～2015年6月12日(週次)。消費者物価指数のデータは2013年6月～2015年5月。2016年9月のECB資産残高は2015年3月以降月600億ユーロの購入が19カ月継続する前提で試算。(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 金融緩和の継続により、景気の緩やかな改善持続

- ユーロ圏の景気は、ユーロ安による輸出回復から、製造業の活動が上向き、雇用や所得の回復を通じてサービス業の活動が高水準を維持するという、経済の好循環が緩やかながらも始まったようです。企業向け貸出も上向き始め、設備投資の回復による持続的な成長が期待されます。
- ギリシャは仮に欧州連合(EU)などから資金支援を得られても、財政緊縮と経済の立て直しの両立は容易ではなく、今後も景気と市場のリスク要因となりそうです。しかし、今回は欧州安定メカニズム(ESM)やECBによる国債買い入れプログラム(OMT)が整備され、他のユーロ加盟国への波及リスクは抑制されていると見られます。

#### ここもチェック!

2015年06月15日 「ギリシャ問題」、瀬戸際の交渉へ(欧州)  
2015年06月04日 ECBは現行の金融緩和策を維持

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。